意見広告

憲法９条の改悪を許しません！ 戦争ではなく平和を！

── 市民生活を犠牲にし戦争への大軍拡路線にノーの声をあげましょう！ ──

高市内閣による 戦争準備を許しません！

高市政権は、米国の要求通り軍事費を 11 兆円に前倒しで増加させ、さらにトランプ政権が求める対 GDP 比 3.5%、約 21 兆円まで増額しようとしています。これだけのお金を福祉・教育にまわしたら、どんなに生活が豊かになることでしょう。また武器輸出の緩和として、人を殺す能力をもつ武器を輸出しようとしています。日本の武器によって他国の人が犠牲になることは今までありませんでした。私たちの「殺さない権利」が侵害され、日本が「死の商人」国家になってよいのでしょうか。

さらに非核三原則の見直しと称し、核兵器の持ち込みを容認しようとしています。唯一の戦争被爆国として、非核三原則は「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」を表明したものです。昨年、「核兵器を保有すべき」との官邸幹部発言が問題になりました。首相の古い友人で高市首相の考えを代弁したものと思われます。日本は非核三原則を堅持して、「核兵器禁止条約」を批准すべきです。

「スパイ防止法」（国民監視法）の 制定は危険です

高市政権は「スパイ防止法」制定を表明しました。「日本はスパイ天国」、このキャンペーンは統一協会が訴えていたものです。その求めに、自民党が 1985 年に「スパイ防止法案」（ 国家秘密法 ）を国会に提出しましたが、問題が多く廃案になりました。しかし、自民・維新連立政権は合意文書にある「スパイ防止法」制定に意欲的で、野党の中にも前向きな政党があり、数の力で成立してしまう恐れがあります。

「スパイ防止法」制定の狙いを参政党 神谷代表は昨年の参院選で、公務員を対象に「極端な思想の人たちは辞めてもらわないといけない。これを洗い出すのがスパイ防止法」と述べました。公務員だけでなく、戦前の「治安維持法」のように政権に反対する特定の人物に、スパイのレッテルを貼り排除・処罰しようとするものです。これは憲法 19 条の思想・信条の自由や、憲法 13 条のプライバシー権を侵害するものです。また、メディアも萎縮して私たちの「知る権利」も奪われます。昨年 8月 15 日には、日本政府自身が「日本はスパイ天国だと考えていない」と国会答弁書で述べていて、立法の事実がありません。

「スパイ防止」といいながら スパイの養成

さらに高市政権は 3月、「国家情報局」関連法案を国会に提出し、「対外情報庁」も設置し、情報収集、情報操作、スパイ養成を考えています。この組織は米国のCIA をモデルとし、スパイを防止するといいながら、スパイ活動や国民を監視する組織をつくるというのです。この間、CIA がベネズエラやイランでやってきた諜報活動を考えると恐ろしくなります。

憲法９条を守り、戦争国家ではなく 平和共存の道を！

日本を中国の防波堤にという米国の戦略にのり、高市首相が「台湾有事は存立危機事態」と発言して武力行使する姿勢を示したことは極めて問題です。日本は再び戦争をしないと誓ったはずなのに、高市政権は日本を強い国・戦争をする国に変えようとしています。憲法「改正」で「９ 条に自衛隊を書き込む」としていますが、集団的自衛権行使容認の自衛隊を憲法に書き込むことになります。自衛隊員に戦死者がでれば、入隊希望者は減少し、その先に待っているのは徴兵制ではないでしょうか。日本の若者が「人を殺し、殺されること」を私たちは望みません。「自国のことのみに専念して他国を無視してはならない」のであって、「全世界の人々が平和に共存すること」を謳う日本国憲法前文と９条を大切に守り、活かすことに努め、主権者として政治のおかしいことにはノーの声をあげましょう！

「戦争をさせない埼玉県 1000 人委員会」意見広告へのメッセージ

「戦力を持てば、戦争を起こす」

総選挙で自民党が衆議院の議席の大半を占め、高市政権は改憲を本気で進める構えです。日本の平和はまさに正念場を迎えました。悲観している暇はない。平和憲法を守るだけでなく平和を築くために行動することが必要です。

今の世界、政治は選挙よりも市民運動で変化しています。お隣の韓国では２年前、戒厳令を出した大統領に市民が街頭に出て「ＮＯ」を叫び弾劾、有罪に追い込みました。選挙でなく市民の動きが政権を変えたのです。台湾では若いママさんの５万人デモがきっかけで昨年、アジアで初めての脱原発国家となりました。アイスランドでは女性の９割が「女性の休日」に参加し、今や世界一のジェンダー平等国家です。

国内では憲法９条の碑を建て憲法を目に見える形にして広める運動が広がっています。３月には被爆者の手で長崎の平和公園に碑が建ちました。埼玉県だけで４カ所あります。

政府や政策を変えるのに次の選挙まで待つ必要はない。今すぐ市民が行動を起こせばいいのです。日本にそんな習慣はないと言うなら創り出せばいい。最初は少人数でも、あるときから劇的に膨らみます。世界の動乱の取材体験から断言できますが、人口の15％が動けば社会を変えることができます。

ロシアのウクライナ侵略この方、戦力を持たなければ攻撃されると言われ、政府はアメリカから武器を爆買いしています。でも、アメリカやイスラエルを見ればわかるでしょう。強力な戦力を持てば攻撃に走るのです。戦争を防ぐのではなく、戦争を起こすのです。いったん軍拡の道を歩めば、強大な軍事力を持たなければ気が済まない。その先は戦争あるのみです。

きれいごとを言うな、現実を見よ、とよく言われますが、戦争に向かう準備をするのが現実的でしょうか。軍事にカネを使う分、生活はますます苦しくなる。本当に戦争になると無傷では済みません。それが望ましい未来でしょうか。戦争を防ぐために平和への努力をすべきではありませんか。

戦後この方、世界は理性を基盤としてきました。国連憲章が掲げるのは国際紛争を平和的手段により正義と国際法に従って実現することです。私たちはあくまでここに立脚しようではありませんか。「正義」の基本を譲らない。本当の強さはそこにあります。

９条を今まで以上に高く掲げましょう。混迷した世界を救う手段、それは世界に９条を広めることです。今の世界でそれができるのは、日本で９条を守ってきた私たちです。

国際ジャーナリスト **伊藤 千尋**

東京大学法学部卒業。1974年、朝日新聞に入社。サンパウロ支局長、バルセロナ支局長、ロサンゼルス支局長などを歴任、４０年にわたり主に国際報道の分野で取材を続けた。2014年に朝日新聞退職後も、フリーのジャーナリストとして各国の取材を続け、これまで世界 82カ国を現地で取材した。

主著に『非戦の誓い～「憲法９条の碑」を歩く』（あけび書房）、『連帯の時代ーコロナ禍と格差社会からの再生』『凛とした小国』『心の歌よ！ Ⅰ～ Ⅲ』（以上、新日本出版社）、『世界を変えた勇気 自由と抵抗 51の物語』（あおぞら書房）、『13 歳からのジャーナリスト～社会正義を求め世界を駆ける』（かもがわ出版）、『反米大陸』（集英社新書）、『燃える中南米』（岩波新書）など。

戦争をさせない埼玉県 1000 人委員会

◆ 呼びかけ人

伊藤　　修（埼玉大学名誉教授）
長内　経男（市民じゃーなる発行人）
大日向　昂（千葉大学名誉教授）
片岡　明幸（部落解放同盟埼玉県連委員長）
鎌倉　孝夫（埼玉大学名誉教授）
小寺　隆幸（公益財団法人原爆の図丸木美術館 前理事長）
斎藤 紀代美（九条の会・さいたま 共同代表）
坂本　洋子（ジャーナリスト）
佐々木 正人（原発いらない市民会議 / 埼玉 代表）
渋谷　晃次（憲法を学ぶ久喜の会事務局長）
菅井　益郎（國學院大学名誉教授）
高橋　哲哉（東京大学名誉教授）
田中　重仁（弁護士）
辻　　忠男（沖縄の闘いに連帯する関東の会 会長）
本田　　宏（NPO 法人医療制度研究会）
前田　哲男（ジャーナリスト）
前原　朝子（埼玉県平和運動センター議長）
村田　文一（狭山事件を考える比企地区住民の会 事務局長）

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 4-3-5
埼玉県平和運動センター気付
電話 048-816-5371　FAX.048-816-5372
MAIL saitamapeacecenter@gmail.com

《個人、五十音順》

あ；相上晃、相場克己、青木静子、青木美智子、青田いずみ、赤嶺菊江、秋池盛男、秋山かほる、秋山典子、秋山博昭、秋山博史、秋山誠、秋山良子、明樂耕平、浅井孝仁、浅子裕紀、浅野毅彦、浅野真澄、浅見勉、浅見裕之、芦川美知子、安倍拓巳、阿部伸夫、安倍正剛、天野幸男、阿美三男、新井一明 新井晃一、新井志郎、新井真吾、新井千代子、新井利之、荒井伸子、新井昇、新井寿典、荒井理拓、新井守、新井よしえ、有元照夫、安藤和子、安藤準一、安藤克江、安藤道夫　い；飯島和弥、飯島啓史、飯島良子、飯塚光弘、飯沼秀雄、五十嵐勉、碇康雄、壱岐昌弘、池田かつ子、池田健司、池田はるな 池田万佐代、池田ゆみこ、池畑雄哉、池辺悠子、石井喜久子、石井孝幸、石井伸、石垣光浩、石川愛子、石川篤、石川享助、石川誠、石川義伸、石毛拓郎、石阪孝司、石澤省吾、石澤のり子、石月路也、石橋咲子、石橋肇、石橋聖史、石原真彦、伊地知終三、泉名孝司、板倉總、櫟原道子、市川孝行、市川武夫 市川望、市川博美、市川幸彦、市川米子、市原光吉、市原まち子、市村一樹、市村きみ江、出井隆志、伊藤勇、伊藤浩子、伊東誠、伊藤守、伊藤恭一、稲田旭修、稲葉裕、稲村民雄、井上尚志、今井健、今井弘行、今井洛、岩井田律子、岩佐駿、岩崎和幸、岩崎正芳、岩崎雄一、岩田秀夫、岩成裕貴、岩本和夫 岩本裕大　う；上田典男、上野一夫、上野昇、植野由希恵、上野良夫、宇佐美誠、宇田川知克、内田恵津子、内田和也、内田貞明、内田秀人、宇津木道子、幼方忠雄、梅沢博史、梅澤真弘、梅山昌弘　え；越前谷千秋、江面敬之、榎本和孝、江野本啓子、榎本賢、海老名雅彦、遠藤充　お；笈田紫穂 笈田直樹、大居芳夫、大河原弘晴、大久保忠三、大澤晃、大島典子、大島まさえ、大城修一、大関厚子、太田のり子、太田まり子、大竹将人、大竹雄太、大塚秋男、大塚貴裕、大塚友秋、大塚浩正、大貫文也、大野研吾、大野真希、大野真由美、大橋義則、大平勝男 大貫大、大山英治、大類章、岡崎幹大、小笠原良知、岡島孝徳、岡添光雄、岡田作次、岡田弘紀、岡田正道、岡田守、小神野チヅカ、岡野勉、岡野敏和、岡本みち子、小川賢一、小川満、小川未奈子、荻野圭介、荻野伸二、荻野寿子、荻野豊、荻原晴夫、奥貴光司、小倉新、小倉順治、小倉美子、尾崎昌江 長内経男、長南克幸、小沢昭江、尾島健治、小島茂、尾島由利江、おしんちゃん、小鷹恵子、落合彰、落合宏、小野広美、小野寺あや、小野寺一規、小野寺雄一、大日方昂、大日方富美子、折原彰　か；開発光広、柿沼優、掛谷由美子、笠原直子、嶌優子、梶田外治、梶田満里子、柏原孝行、片岡明幸、片岡澄平 片川久治、勝部祐樹、勝部由香里、加藤孝文、加藤秀顕、加藤英則、加藤渉、金子彰、金子啓一、兼子順、金子望子、金子敏子、金子拓樹、金子裕光、金子麻紀子、金子美樹、兼子ゆう子、金子由美子、金子よし子、金台和夫、金武竜、榎沢昌敬、鎌原勝行、神尾正実、神尾泰之、神木和夫、紙谷直機、亀井典子 加来学、河井孝子、河井好一、川上かおる、川上美智男、川口崇、川口久子、川島愛三郎、河田博、河内裕介、川津茂子、川野安紀子、川畑とよ子、川辺かおる、川邊奈月、川辺よしのぶ、、川村勇、川村準、河村孝、川村朋子、川村訓史、川村まり子、神田陽介、菅野亜裕美、菅野千恵子　き；菊地一成 菊地聡、菊地直美、岸真弓、岸本真弓、北浦恵美、北原あや子、北原修、北村吉朗、橘井公治、衣川俊男、木村和世、木村勝男、木村真徳、木村好美、桐谷保治　く；草野文夫、工藤潤子、工藤豊治、工藤廣一、窪田裕介、熊倉友貴、熊坂拓也、蔵前勝也、蔵前侯江、倉持光好、栗島進、栗原邦子、栗原直子 黒澤千恵子、黒澤勇樹　け；慶島譲治　こ；小池隆夫、小出重義、合谷憲治、合谷さくら、小久保晶良、越川次、小島佐知子、小島楷平、小嶋達雄、小島まゆみ、生陽元、小林一己、小林勝代、小林幸司、小林精一、小林貴主、小林宏子、小島正美、小須田幸治、小見山希生、小森充、小谷野孝雄、小山香 今田真美、権藤俊司　さ；斎藤紀代美、齊藤慶二、齊藤進、斎藤信子、齊藤信隆、齋藤一、斎藤宏、酒井孝一、酒井涼太、佐々木俊二、笹沼良子、酒井哲也、酒井松吾郎、榊原祐子、阪中通秀、坂本博基、坂本昌幸、坂本好春、坂本洋子、坂和優、櫻井雅治、佐々木典子、佐々木正人、笹本米子、佐藤昭夫 佐藤英、佐藤悦子、佐藤公子、佐藤堅、佐藤心、佐藤俊太郎、佐藤純子、佐藤進、佐藤征治郎、佐藤セビア、佐藤忠秀、佐藤達夫、佐藤俊夫、佐藤秀実、佐藤文雄、佐藤昌已、佐藤将行、佐藤光雄、佐藤守男、佐藤吉幸、佐藤芳春、狭山市 82 歳 MHO　し；椎名佳寿美、椎名栄穂、椎名野歩也、椎名久和 椎名豊太郎、椎名有明乃、志賀景、下羽初枝、忍修一、忍淑子、四宮由美子、柴謙次、渋谷幸夫、渋谷諒、志磨かおる、嶋崎紀久代、嶋田和彦、島田康二、島田剛、島田正紀、島村周作、嶋本聖子、島本良典、清水あかり、清水慶也、清水幸恵、清水武、清水俊子、清水正夫、清水美恵、清水美乃里、清水優衣 清水優里、霜鳥亘、下山祖謙一、白根大輔、白田真希、進藤敬子　す；須貝恒也、菅井益郎、須貝道子、菅野政巳、菅原銀河、杉岡光明、杉田伸子、鈴木昭彦、鈴木恵美子、鈴木誠一、鈴木隆宏、鈴木俊美、鈴木紀夫、鈴木紀雄、鈴木秀尚、鈴木弘子、鈴木郁夫、鈴木正士、鈴木美知子、鈴木恵、鈴木康治 鈴木裕也、鈴木庸子、鈴木冷子、須田高弘、須田優美子、春原健士、春原照子、諏訪三津枝　せ；関淳子、関貴之、瀬木秀幸、関岡久美子、関口武雄、関口秀雄、関口正人、関根孝、関根美穂、関根吉亜木、関谷麻智子、瀬崎知明、瀬谷卓美、仙田京子　そ；外戸口光男　た；田井英子、大工原竜太郎 平聖貴、高久学、高畠昭和、高瀬金弥、高田浩司、高田信雄、高谷綾子、高槻毅、高橋明子、高橋永治、高橋一信、高橋一政、高橋和哉、高橋貴、高橋真、高橋卓美、高橋剛、高橋トミ、高橋宏也、高橋良、高橋政春、高柳俊哉、田上久夫、高比良修子、多ヶ谷長喜、滝口けい子、田口弘人、田口雅子、田口雄一朗 武井オルシェウンマイケル、武井久美子、武井千恵子、武井美由子、武井誠、武井真人、武井真澄、武井道子、竹井侑子、武井倫太郎、武川真美子、武田信康、田島公子、田島晴彦、田中昭子、田中和宏、田中絹子、田中成樹、田中重仁、田中初義、田中洋一、田辺厚子、田辺淳、谷口史勇都、谷森櫻子 谷森正之、田之岡真澄、田畑昌樹、田幡大知、田原広美、田巻晴生、玉之内明徳、田村晶子、為貝勇、田原理一郎、旦保立子　ち；千島理子、千葉緑、千葉義浩、中條克俊　つ；塚越操、塚田大樹、塚本裕彦、津久井春子、辻キミ枝、辻忠男、土屋香織、土屋幸大、鶴見雄大　て；手島康雄、出口研介 出口裕城、寺尾光身、寺門歩、寺島正希　と；東海林隆夫、東泉孝一郎、遠田仁之、外川美夏、戸羽将太、冨田久恵、友野重雄、戸谷克己、鳥羽大河　な；長成紀、中井輝、永井直子、永井信彦、長尾恵一、長尾清江、長尾周三、中澤明子、中沢和夫、中澤歌奈子、中澤賢太、中澤正治、中島明日香、中島修 中島沙織、中島優、中島肇、中島利明、中島真、中島美代子、長島諒、長瀬優吾、永田裕司、中富進一、中田南都子、中田英雄、中西猛、中野昭、中野建太郎、長野始、中牧隆浩、中道弘、中村加津基、中村克、中村志げ、中村稔、中山克、永吉一宣、南雲武雄、那倉吉男、浪江和子、浪江福治、浪江まち子 浪江泰永　に；新島昌子、新島清子、新島俊雄、新島光明、贄田真由美、西浦昭英、西尾綾子、西尾典見、西川俊子、西田和永、西田立郎、西田良子、西村美智恵、新田清輝、西村幸代、西山英夫　ぬ；沼尾浩二、沼尾敏夫　ね；根岸悦子、根岸大樹、根岸博、根岸隆一郎、根岸晴香、根岸博 根岸由紀子　の；野口巳義、野口雄一、野澤健司、野澤久夫、野澤素子、野田小百合、野田静枝、野原一輝、野原賛次、野辺大貴、野村桂子、乗木義一、野呂多美子　は；芳賀聖子、橋口千賀子、橋口竜弥、橋爪直光、長谷部一郎、橋本淳矢、橋本武大、橋本睦、初山知幸、馬場勝彦、花井カヨ子、花井正太郎 羽生雅一、羽田亮介、濱田麻美、浜中富士子、濱野京子、羽村京子、林真由美、林ゆな、早津智久、原順子、原武子、原田繁彦、針ヶ谷昌三、半田清雄　ひ；東征、樋代博、日比将人、平岡忠司、平賀千章、平田あつし、平田なみ、平野大夢、広重ウタ子　ふ；深澤貞次、深水厚子、深谷優也、福士智夫 福田善則、福島健次、福島雅勇、藤川大和子、福田和樹、福田深、藤井久美子、藤井正之、藤田和夫、藤田茂徳、藤田節子、藤田晴久、藤城光政、藤浪成昭、藤野好夫、藤間拓洋、藤本竜太郎、布施由女、船岡弘治、船岡トヨ子、船橋喜美子、船橋延嘉、降旗聡、古河邦子、古河誠 へ；逸見一也　ほ；保坂正人、保科行男、星野悦子、星野敦、星野幸男、細田健一、細田重雄、細田直輝、細田三千子、細山光男、穂積ひとみ、堀内政宏、堀内真理子、堀江淳一、堀込雅代、堀越弘宣、本多直樹、本名洋　ま；前田哲雄、真栄田義弘、前田理恵、前原朝子、町田美津子、松井直也、松浦晴英 松本恵美子、松本京子、松本タカシ、松澤新、松澤悦子、松澤岡代子、松澤聖、松澤章一、松澤新大郎、松澤美枝子、松澤龍ヶ新、松苗真吉、間仁田香代、松下恵、松下美帆、松下美幸、松村郁美、松本敦子、松本和喜、松本和延、松本一也、松本久美子、松本恵子、松本恵介、松本幸次、松本啓子、松本隼輔 松本都久恵、松本富子、松本実、円城忠文、馬橋博一、真中とし子、丸山巧、丸山道雄　み；三浦美保子、三上寛、三嶋杏介、水野雅通、水村和敏、三谷藤裕、路川隼人、三橋博之、三橋幸代、西山英夫、宮入晃、宮入弘子、宮岡義明、宮崎功、宮崎さち、宮澤茂雄、宮澤春美、宮島輝彦、宮嶋敏、宮本真樹 宮山由紀、三吉勉　む；武藤辰也、宗實こず枝、村上正義、村田和仁、村田智子、村田聡、村田大知、村田文一、室田修吾、室永寧安　め；目黒昭彦、目時和枝、目時正守　も；茂木幸蔵、茂木秀久、持田明彦、持田朝光、持田葉子、森大樹、森俊明、森俊雄、森川勇太、森下晶、森下鮎美、森下恵子 森下豊定、森下晴斗、森下道幸、森下優斗、森田和雄、森田博之、盛田侑子、森西忠次郎、森村正寿、守屋徹、森山葵、森山薫、森山なな え、森山優　や；柳沼新一、矢島喜代江、八代昌子、安田佳子、安野儀雄、安本孝晃、八田部鉄、柳田雄三、山岡信幸、山崎敦司、山崎誓平、山下修子、山下治男、山下弘之 山田コムタン、山田浩太、山中孝則、山中弘子、山根彩花、矢作太郎、山口直樹、山ノ内慶子、山本勲、山本喜久治、山本圭介、山本幸司、山本貞好、山本幸子、山本淳子、山本久、山本慈浩、山本勇治、山本義明、前本雄大、矢部英雄、谷部弘子　ゆ；湯浅新一、結城智、湯澤安治、湯澤保治 よ；横瀬由子、横田保、横田登志子、横田眞紀子、横塚ミドリ、吉岡重光、吉井恵子、吉井秀貴、吉川武士、吉澤佑也、吉田一郎、吉田和男、吉田和子、吉田絹子、吉田善二、吉田照秋、吉田浩、吉田洋、吉田美津子、吉橋孝尚、吉村重和、米蔵孝、米澤康、米田主美、米田景子、米田凜、米山千尋 米山真由美　わ；若居忠雄、脇谷和宏、涌井静雄、鷲尾祐喜義、渡邊光一、渡辺恒男、渡邊友哉、渡辺将也、渡部学、渡部学、渡辺正己、渡辺やよい、渡邊彌

匿名 K・S、Y・T、S・O、M・T、Y・L T・O、A・S、R・S、M・O、I・K、K・W、H・L T・M、K・M、T・M、F・M、K・M、A・N、S・K、S・S、Y・M、T・K、S・S、N・N、H・K、K・D、A・S、I・K、M・O、T・O、M・A、T・N、H・K、M・S、T・O、T・W、Y・L Y・M、H・L Y・M、T・M、H・L C・U、R・U、A・T、S・O、D・H、K・M、T・M、K・N、A・T

《団体、順不同》

埼玉県私鉄労働組合連合会、東武バス労組、東武鉄道労組東上支部、同春日部支部、同浅草支部、朝日自動車労組、秩父鉄道労組、川越観光労組、国際十王交通労組、協同バス労組、国労大宮地区本部、自治労埼玉県本部、同さいたま市職労、同川越市職、同熊谷市職労、同秩父市職 同越谷市会計年度任用職員労組フォルテ、埼玉教職員組合、同南支部、同児玉・大里支部、同入間支部、同比企支部、同埼葛支部、同さいたま市教組、同川口教組、同入間北教組、朝霞学校ユニオン、学校ユニオン埼玉、埼玉退職教職員協議会、埼玉高等学校教職員組合、全農林埼玉分会 全水道さいたま水労、首都圏建設産業ユニオン埼玉支部、部落解放同盟埼玉県連合会、同女性部、同児玉郡市協議会、同大里郡市協議会、同北埼玉地区協議会、同北足立郡市協議会、同入間郡市協議会、同比企郡市協議会、同熊谷市協議会、社青同埼玉地区本部、同春日部支部委員会 埼玉県平和運動センター、川越平和センター、東部地区平和運動センター、比企西部地区労働組合協議会、比企地区憲法をいかす会、熊谷地区労働組合協議会、社民党埼玉県連合、同さいたま市総支部、同浦和支部、同大宮支部、同大宮春岡班、同岩槻支部、同与野支部、同川口総支部 同上尾総支部、同桶川総支部、同鴻巣総支部、同川越総支部、同坂戸総支部、同埼玉西部総支部、同小川総支部、同朝霞総支部、同熊谷総支部、同本庄・児玉部総支部、同寄居総支部、同秩父総支部、同加須総支部、同久喜総支部、同春日部総支部、同草加総支部、同越谷総支部 同吉川総支部、同幸手総支部、同東部ブロック協議会、一般財団法人 埼玉社会文化会館、新社会党埼玉県本部、久喜地方自治研究会、もろびと平和サークル、NPO法人 関東商工センター、九条の会・さいたま、沖縄に応答する会@埼玉、桜区平和とくらしをまもる会 熊谷市職員退職者会、上尾市退職者会、原発いらない市民会議 / 埼玉、同野つとむ後援会、川辺よしのぶ後援会、ふりはたさとし後援会

※ この広告は趣旨に賛同する多くの個人、団体の皆さんのカンパによって作られました。お名前を公表した以外の個人、団体からも多数のご賛同をいただきました。